



ライフツリーズ・コープス

プレアクト情報

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

サバ缶 (twitter : @sabakan8446)

▼プレイヤー人数

3~5人

▼想定プレイ時間

4~5時間

▼シナリオタグ

企業、テクノロジー、クローン

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

40~80点

▼達成値制限

なし ※ゲストの最大達成値は22である。

▼スタイル制限

特になし

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。

移植手術を控えたクローンが誘拐された。
瀕死の少女は祈りを呟き、苦悩する父は奔走する。
余命幾ばくもない少女にとって、
自身のクローンは希望のよすがなのだ。

しかし必要なのは“外身”のほう。
“中身”など誰も顧みることはない。
ならば声などあげる必要もなからう。
命の樹は電子の枝葉を広げ、今日も今日とて屍を
吊す。

だがたまにいるんだ、
葉擦れの音に声を聞くやつが。
——あなたにはなんて聞こえた？

トーキョーNOVA THE AXLERATION
『ライフツリーズ・コープス』

かくて運命の扉は開かれた。

ニューエイジの先端医療のひとつ、「クローン」について取り扱ったシナリオ。

企業、テクノロジー、そしてアストラル。多くの要素を内包しつつ、骨太の王道SFに仕上がっている。

(掲載日：2016.12.22)

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

- 『①フェイト』：不屈の探偵（『HDB』p160）
- 『②クグツ』：企業戦士（『HDB』p162）
- 『③バサラ』：夜の猟犬（N / C オリジナル）
- 『④タタラ』：サイバードクター（N / C オリジナル）
- 『⑤トーキー』：遊撃記者（『HDB』p163）

●プレイヤー人数が4人以下の場合

プレイヤー人数が4人の場合は『⑤トーキー』を、3人の場合は『⑤トーキー』及び『③バサラ』を抜くこと。

●必要な神業

ゲストの即死神業等によってキャストが退場するのを防ぐため、キャスト全員で3個（参加プレイヤーが3名の場合は2個）以上の防御系神業が必要になる。

なお、『真実』には使用を想定した場面が存在する。また、『タイムリー』の使用によって、友好的なNPCを救うことができる。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：ストリート、企業〉などである。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①フェイト』→『②クグツ』→『③バサラ』→『④タタラ』→『⑤トーキー』→『①フェイト』

（*1）『③バサラ』のスタイルについて

『③バサラ』のスタイルは必須ではない。また、レイを心配するなどの理由から、ブラックハウンドの所属でも調査は可能である。

アクトハンドアウト

各キャストには下記の設定が推奨・あるいは追加される。キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

- 『①フェイト』：探偵
- 『②クグツ』：千早重工後方処理課
- 『③バサラ』：ナイトハウンドの所属（*1）
- 『④タタラ』：医者
- 『⑤トーキー』：記者

②推奨スタイル：クグツ

SCENARIO HANDOUT

コネ：“火喰い鳥” 小上 紫乃

推奨スト：理性

千早バイオメディカル社から医療用クローンが誘拐され、千プラチナムが要求された。千早重工はキミを派遣し、当該クローンの回収を指示した。が、職務はそれだけではないようだ。小上紫乃は語る。「同社はとてもクリーンでした、小さな火種ひとつないほどに。……ゆえに今まで査察の際すらありませんでした。あとはお分かりですね？」

【PS：千早バイオメディカル社を調査する】

①推奨スタイル：フェイト

SCENARIO HANDOUT

コネ：“三枚舌” 早美 宗司

推奨スト：理性

「娘のクローンを誘拐した。返してほしければ千プラチナムをよこせ」小首をかき上げる文句だが、溺死の娘が移植手術を控えている父親には最悪の脅迫だ。犯人の次の連絡を待つなんて、有能なエグゼクにはできない相談だった。父親は管理企業の静止を振り切り、独自にキミを雇った。

【PS：クローン誘拐事件を解決する】

③推奨スタイル：バサラ

SCENARIO HANDOUT

コネ：ジャンヌ・デファンス・ヴェイク

推奨スト：理性

「ふざけるな！ オレは気絶させただけだって言ってるだろ！」ブラックハウンド基地は騒然としていた。レイが捕まえた不審者が死んだとか、元から死んでいたとか、あまつさえいつか起き上がって基地から脱走したらしいというのだ。事を察したジャンヌはキミに指示を出した。夜の夜には夜の猟犬が鉄槌を下すべきだ。

【PS：逃げた死体を追跡する】

④推奨スタイル：タタラ

SCENARIO HANDOUT

コネ：早美 友理奈

推奨スト：理性

早美友理奈はキミの患者だが、手の施しようのない多臓器不全を発症している。サイバウェアに対しては不適合であり、残された道はクローンへの移植手術しかない。だが、誰よりも手術を切望していたはずの父親から延期の要請が入った。腕に落ちないキミは独自に調査を開始した。患者の命が掛かっているのだ。

【PS：医者の使命を果たす】

⑤推奨スタイル：トーキー

SCENARIO HANDOUT

コネ：“三枚舌” 早美 宗司

推奨スト：外界

君は一介のトーキーだが、今日の取材対象はやや大物だ。相手は千早系列のエグゼク、“三枚舌” 早美宗司。手段を選ばないやり手として名高い男だ。万全の準備を整えてオフィスへと足を踏み入れた。が、アポは直前にキャンセル。オフィスの異様な緊張感に、キミは特ダネの匂いを感じた。取材をさせてもらえないなら、勝手に取材を始めさせてもらおう。

【PS：早美宗司の周辺を取材する】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

チハヤ・バイオメディカルはクローンの生産施設ライフツリー・システムを軸にした企業だ。

このシステムはクローンの肉体の育成と自我の抑圧を平行して行い、質の良いクローンを効率的に生産するシステムとして注目を浴びていた。しかし生産するものには必ずロスがつく。主任管理者の椿山晴彦はクローンの廃棄処理に頭を悩ませていた。

そこへ三合会の食客、藍閨月が迫る。彼女はクローンの横流しを提案し、椿山晴彦はそれを承諾した。藍閨月は成人の廃棄クローンを三合会に捌かせ、胎児の廃棄クローンは自身の呪術の材料とした。呪術を施したぬいぐるみは運を呼び込むぬいぐるみとして、N◎VAの女性エグゼクたちの間に広まっていった。

二人の計画は順調であったが、それは「自我の弱い＝目撃者として証言できない」クローンしかない施設内だからこそできた行いだった。偶然にも自身の複製元と交流をもち、自我を確立してしまったクローン、

ユキは同室の姉妹機が椿山に処分されたことに身の危険を感じ、施設を脱走する。藍閨月はユキが誘拐されたように見せかけ、ユキが脱走したという事実を隠蔽しようと図る。ユキの複製元の父親、早美宗司の性格を利用し、彼にユキを探させるように仕向けた。その結果藍閨月はユキの居場所をつかみ、部下の玩緑に回収させることに成功する。

キャストたちは偽りの誘拐事件から情報をたどり、ユキ、そしてクローンの生産施設ライフツリー・システムに迫る。人権のない、あくまで複製元の交換品でしかないクローンを、どう処分し、事件に決着をつけるのか。藍閨月と椿山晴彦を倒し、ユキの処分を決定することによって、アクトは終了する。

■クライマックスの条件

[アドレス：チハヤ・バイオメディカル最上階] へ向かうとクライマックスになる。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：先生あのね

シーンプレイヤー：「④タタラ」

登場：不可

◆解説

「④タタラ」のオープニング。

「④タタラ」の勤務する病院にて、早美友理奈を診察していると、父親の早美宗司からコールがかかる。

友理奈をクローンの肉体へと総身体交換(※2)する手術を、延期してほしいという。

◆描写1

病棟の雰囲気(賑やかだったり、静かだったり)を早美友理奈は楽しんでた。

「④タタラ」が部屋に入ってくるのに気づくと、直前まで書き込んでいた電子パネルを隠した。

▼セリフ：早美友理奈

「先生、こんにちは」

(パネルについて尋ねた)「えっ？ えへへ、ナイショだよ」

「先生は、お友達とメールする？ どんなこと話す？」

「私はね、先生のこととか話してるよ！ あとお料理のこととか、外の景色とか……う、げほっ」

※調子よく話すが、会話の途中で激しくせき込む。少

し吐血し、喉をヒューヒューさせる。見るも痛々しい様子だ

◆描写2

キミのポケットロンに、早美友理奈の父親、早美宗司から着信がある。

▼セリフ：早美宗司

「私だ。早美だ。友理奈の具合はどうだね。」

「手術の件だが、……少し、待ってほしい。事情が変わった」

(理由を尋ねた)「いや、心配するほどのことはない。すぐに問題は解決する」

「友理奈には、何も言わないでくれ。くれぐれも、心配させないようにな」※通信が切れる

◆結末

早美宗司は治療費用として「④タタラ」に1ゴールド(5報酬点)を支払っている。「④タタラ」が調査を開始したなら、シーンを終了する。

(※2) 総身体交換(フルボディチェンジ)

脳以外をすべてクローンと入れ換える予定である。総身体交換については「HDB」p59も参照されたし。

●オープニング2：俺には金しかない

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：不可

◆解説

『①フェイト』のオープニング。早美宗司のオフィスに呼び出され、娘のクローンの誘拐事件について解決を依頼されるシーン。

◆描写

グリーンエリアのオフィスのビル、ハマミ・インベストメントの一室にキミは通されていた。

厳重なセキュリティチェックをパスした上、部屋にはカブトもいる。部屋にエグゼクが入ってくる。

▼セリフ：早美宗司

「はじめまして、『①フェイト』。お噂はかねがね。実際にキミに依頼するなど考えていなかったのだがね」「私は時間が惜しい。単刀直入に言おう。“娘”誘拐された——ああ、こういえば皆迅速に動いてくれるのだがなあ」

「実際誘拐されたのは娘の“クローン”の方なのだ。だが娘の命が掛かっているのと同じことなのだ。娘は病気で、クローンにフルボディチェンジする予定だった」

「クローンになにかあれば、それは娘に何かあったのと同じことなのだ」

(誘拐事件について尋ねた)「犯人は千プラチナムなどとバカげた金額を要求している。実にバカだ。私なら同じ額を用意しても、犯人に渡す前に優秀なスタッフを雇う。キミのようなね」

「ただ待つだけなら私にはできません。だが、私には金を使うことしかできないのだ」

「頼んだ。一刻も早く見つけてくれ」

◆結末

早美は報酬として1ゴールド(5報酬点)を支払う。『①フェイト』が引き受けたならばシーンを終了する。

●オープニング3：火のない場所にも煙は燻る

シーンプレイヤー：『②クグツ』

登場：不可

◆解説

『②クグツ』のオープニング。小上紫乃に呼び出され、クローン誘拐事件の処理と、チハヤバイオメディカルの査察を依頼されるシーン。

◆描写

キミは班長の小上紫乃に呼び出された。

▼セリフ：小上紫乃

「仕掛かっているタスクを休止し、最優先で処理していただきたい案件があります」

「千早グループの子会社、千早バイオメディカル社で盗難事件が発生しました。近日出荷予定のクローンが

盗まれたと。しかも盗んだ犯人から“身代金”の要求が出ているようです」

「SSSにも通報が入っているようですが、彼らでは対処しきれない案件だと思います(*3)」

「よって、我々の方で介入することを決定しました。そのため、あなたにこの件を対処していただきたいのです。が……」

(小上紫乃はバイオメディカルの業績データをホロで表示して示す(*4))

「チハヤバイオメディカルは今まで“不自然なほど”火種のなかった会社です。何もなさ過ぎて、査察の際すらありませんでした」

「しかし今回の件で、あなたは堂々と入ることができます。あとはもうわかりですね？」

班長は投げかける。

◆結末

『②クグツ』が答えたならば、小上紫乃は経費として3シルバー(3報酬点)を支給する。『②クグツ』が調査を開始したならばシーンを終了する。

(*3) 彼らでは対処しきれない
もちろんできないことはないが、査察の際を伺っていた火喰い鳥が案件をさらっただけの話である。

(*4) 業績データ

非の打ち所のない、極めて優秀な業績をあげている。生産上のロスすら極めて低い。



■ 早美 宗司

エグゼク◎ (エキストラ)

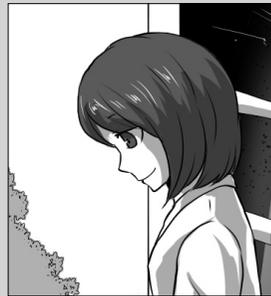
▼設定

「どいつもこいつも金の使い方がなっとらん。正しい金の使い方を見せてやる」

千早系列の投資会社、ハマミ・インベストメントの若社長。不動産から娯楽業まで幅広い投資活動を行っているが、必ずしも善良な仕事ばかりではない。舌戦に物言わせる強引な取引も多く、お世辞にも上品な投資家とは評されない。

▼神業

使用しない



■ 早美 友理奈

マネキン◎ (エキストラ)

▼設定

「このウサちゃん、持ってて。友達印！ えへ、かわいいでしょ？」

早美宗司の一人娘。幼い頃から病弱で入院を繰り返しており、付き合いの長い友人を持たない。病床で人と交友をもつことが多かったため、交友を得た人物に物品を送ることを習慣づけている。自分が死に別れても、モノは残るからだ。

▼神業

使用しない

●オープニング4：暴走課長の災難

シーンプレイヤー：『③バサラ』

登場：不可

◆解説

『③バサラ』のオープニング。描写1はレイがブラックハウンド機動捜査課で取り調べを受けている様子を描き、描写3で『③バサラ』がジャンヌからその様子を聞いていたシーンになる。

◆描写1

ブラックハウンド機動捜査課の取調室。レイが取調室で機動捜査課の職員に取り調べを受けている。

▼セリフ：レイ

「いや本当だって！ オレは！ 断じて殺してない！
確かに、拳は突き出したけどな！ 人さらいみたいな恰好してるのが悪いし、公務執行妨害というきちんとした理由があるんだよ！」

「いや、だいたい当たってないんだよ！ 必要ならオレの手でも調べろ！ あいつが勝手に倒れたんだよ！ (*6)」

▼セリフ：BH職員 (エキストラ)

「そうは言ってもレイさん、自分でぶっ倒れたにしちゃ見事なホトケサンでしたよ」

▼セリフ：レイ

「だからオレじゃねえって！」

◆描写2

取調室に監察医が入ってくる。

▼セリフ：BH監察医 (エキストラ)

「おーい、さっきの検分が出たぞ
「死後10年だ」

▼セリフ：レイ

「は？」

場面がブラックアウトする。

◆描写3

ナイトハウンドの部署で、ジャンヌがキミと向かい合っている。

▼セリフ：ジャンヌ

「そういうわけで案件を引き継いだ。慣れるて監察医でまだよかったよ。さすがの課長も腑に落ちない顔をしていたがな」

「で、だ。当該の死体。引き継ぐ間際で逃げやがった (*6)。自発のものが誰かの手引きかはわからないが……」

「ともかく、何かを企んでるのは確かだ。行ってくるな？」

◆結末

ジャンヌは経費として3シルバー (3報酬点) を支給する。『③バサラ』が動き出したならばシーン終了する。

●オープニング5：災い転じて災いと為す

シーンプレイヤー：『⑤トーカー』

登場：不可

◆解説

『⑤トーカー』のオープニング。前段では早美宗司にアポ (*7) をキャンセルされるが、騒ぎの兆候をかき取って周辺を調べ始める。後段、クローンのユキに遭遇し、兎のぬいぐるみを拾う。

◆描写1

ハマミ・インベストメントの受付でキミは受付と押し問答になっていた。

▼セリフ：受付嬢 (エキストラ)

「ですから、早美様は体調を崩されてまして。本日の取材は、申し訳ございませんがキャンセルさせていただきます」

「申し訳ございません」

◆描写2

ビル内部は警備スタッフがやや過剰にみえた。

ドロイドだけではなく、イヌらしい人影 (*8) もちらほら見受けられた。

▼セリフ：私服警官 (エキストラ)

(事件があったか尋ねる) 「いや、特に事件といったことにはないですよ。おつかれさまです」

◆描写3

周辺には自分を除き、トーカーの姿はない。事件にせよスキャンダルにせよ、いい現場に出くわしたかもしれない。

『⑤トーカー』が一旦ビルの外に出ると、どこか遠いまなざしでビルの入り口を見つめている少女 (*9) を見かける。

早美宗司の資料を読み込んでいた『⑤トーカー』であれば、その顔に見覚えがあり、重要人物だとわかる。声をかけると少女は我に返るがおびえた様子であり、『⑤トーカー』が近寄ろうとすると逃げ出してしまふ。

◆結末

少女がいた場所に、兎のぬいぐるみが落ちていた。カバン等につけられるようなチャームのようだ。

トーカーが兎のぬいぐるみを回収し、少女、及び早美宗司の周辺を調査する意思を表示したのであれば、シーンを終了する。

(*5) レイの釈明について

玩緑は額の札で活動によって活動していたが、レイの拳が玩緑の額をかすめ、札を剥がしてしまった。その結果ただの死体に戻ってしまったのである。また、玩緑が何かをさらっていた痕跡については、付近からヒューマンドローンが発見されているのみである。

(*6) 逃走の様子

業務用の冷蔵庫を想像してほしい。その扉が内側から強力な力で破られ、死体は消えた。

(*7) 『⑥トーカー』のアポ

『⑥トーカー』が早美宗司を取材しようとした動機はプレイヤーの任意に決定して構わない。

(*8) イヌらしい人影

イヌたちは私服警官なので、スタイルをミストレスやカブなどに偽装している。

(*9) ビル入り口の少女

逃走した友理奈のクロウン (ユキ) である。彼女は早美宗司のオフィスに人が吸い込まれていく様を見、自身の生活していたバイオメディカルと重ね、萎縮している。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：愛の挨拶

条件：リサーチフェイズの最初のシーン

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：(社会：企業、メディア) / SR：グリーン

◆解説

藍潤月が『①フェイト』にクローンを探させるよう仕向けるシーン。

◆描写

早美宗司のオフィスビルを出た『①フェイト』のポケットロンに、非通知の着信がかかる。声の主は甘ったるい声音の女性だ。

▼セリフ：謎の女性

「はじめまして、『①フェイト』。あの早美宗司から依頼が来るなんて、よほど腕利きのフェイトなんですね?」

「ああ、失礼。私は誘拐犯ですわ。あなたの探そうとしているクローンの、ね」

「ですがわたくし、誘拐ごっこに飽きてしまいましたわ。早美は千プラチナム払うどころか、あなたを雇ってわたくしたちを探させるつもりなんですよ」

「このままじっとしては捕まるのを待つばかり。そんな詰将棋は退屈です。ですから『①フェイト』、ひとつ能動的に遊びましょう」

「右も左もわからないクローンを、このN◎VAの街に放ちました。わたくしが飽きる前に、あのクローンを見つけてくださいまし。見つけれたらクローンはお返しいたします」

「ああ、かわいそうに。何も知らないクローンちゃん、野垂れ死ぬかもしれませんし、もっとわるういレッガーに襲われてしまうかもわかりませんわ」

「素敵なフェイトさまに見つけてもらえるといいですわねえ」

「では、検討を祈りますわ」

(見つけれない場合を尋ねた)「ふっふ。あなたの破格の依頼は御破算となりますわね」

(何が目的かを尋ねた)「余興に目的を尋ねますの? 無粋なお方ですわね。でも、強いて言えば、右往左往するあなたを見る方が楽しそうでしたので」

◆結末

通話が切れたところでイベントを終了する。

●イベント2：エデンの園へようこそ

条件：チハヤバイオメディカルのアドレスへ向かった

シーンプレイヤー：『②クグツ』

登場：(社会：企業、テクノロジー) / SR：グリーン

◆解説

『②クグツ』がチハヤ・バイオメディカルに入館し、管理者の椿山と顔を合わせるシーン。

◆描写1

(千早バイオメディカルの外見)

千早バイオメディカル社。グリーンエリアの外れに無骨な白い箱のように存在していた。

受付のシステムが来館者を認証し、入館者用のバッヂを差し出してくる。

(千早バイオメディカル内部に入った)

内部はさながら小さな街のようであった(*10)。

育成されたクローンたちが行きかう様子が、接触こそできないものの、透明なパネル越しに見ることができた。

受付のヒューマンドローンが男性の研究員を案内してくる。

▼セリフ：椿山晴彦

「こんにちは。椿山といいます。こちらの主任監督を務めています。千早重工の方が来ていただけるとは心強い。よろしくお願いします」

「私どもとしても初めてのことで、どう対応していいものか……」

(誘拐について尋ねた)「昨晚、何かが来客用の入館証を利用してこの施設からクローンを盗んだんです」(映像記録などはないか尋ねた)「顧客情報の保護のため、映像では記録を残していませんでした」

◆処理

椿山晴彦は『②クグツ』に対して盗まれたクローンの部屋を見るか尋ねる。

見ると答えた場合、クローンの部屋まで案内する。

◆描写2

施設内を移動しようとすると、内部の巨大な吹き抜けにぶつかる。高速エレベーターが一本の柱のように、が地下から最上階まで伸びており、柱から外周に向けて通路が伸びている。それはさながら樹のようだった。

▼セリフ：椿山晴彦

「この施設自体が、クローンの育成システムになっているんです」

「上層階で胎児状態まで成長を促進させ、育成装置から排出されます。幼児期以降、成長段階に応じて下層フロアに降りていく仕組みです」

(クローンが自分で出ていくことはないか尋ねた)

(*10) 内部は街のようであった

ここでのクローンはポッドでの急速な育成ではなく、可能な限りの自然育成を心掛けている。健康なクローンの育成には運動も必要のため、施設内を歩かせるなどしている。だが皆一様に自我が希薄であり、漫然と人の行きかう姿に不気味な印象を受けけるキャストもいるだろう。

「クローンは自我が弱くなるよう調整されているので、そのようなことはありません」

◆描写3

部屋は簡素な広めの部屋だった。荒らすほど物もない、まるで囚人のためのような部屋である。

◆処理

誘拐されたクローンの部屋に到着した段階で、部屋の観察のために〈知覚〉目標値12の判定。

(成功した場合の描写)

部屋は一体のクローンにあてがうには、異様に広いように見えた(*11)。

(失敗した場合の描写)

特になし

▼セリフ：椿山晴彦

(部屋の広さについて椿山に尋ねた)「早美様は千早グループの一員としても重要なお客様でしたので、クローンもそのために広い部屋をあてがっておりました」

◆結末

『②クグツ』が椿山晴彦と別れ、千早バイオメディカルを後にしたらシーンを終了する。

●イベント3：来たるは蛇かイヴか

条件：【早美友理奈】を調べ、「イベント2：エデンの園へようこそ」が発済済である

シーンプレイヤー：【早美友理奈】を調べたキャスト

登場：(社会：ストリート、企業_{など}) / SR：グリーン

◆解説

早美友理奈について調べたキャストが早美友理奈のクローンに遭遇するシーン。

場所は『④タタラ』の勤める病院ないしその周辺を想定している。

『④タタラ』が抜けている場合は、描写1及びセリフを読んで早美友理奈の病状等を説明すること。

◆描写1 (※『④タタラ』が抜けている場合)

患者でにぎわう病棟から離れた、エグゼク向けの静かな病棟。早美友理奈はその一室に入院していた。

▼セリフ：看護師 (エキストラ)

「早美友理奈さんにお見舞いですか？ お父様もお忙しくて寂しいみたいだから、きっと喜びますよ」
「最近また具合が悪くなってきて、あまり起きてることが少ないんです。今も寝てるかもしれません」

◆描写2

早美友理奈の病室の扉を開けると、病室のベッドで早美友理奈が静かに眠っていた。

そのかたわらにはもう一人の早美友理奈が椅子に腰かけ、早美友理奈を見下ろしていた。キミたちに気が付くと、椅子に座っていた早美友理奈は驚いて顔をあげ、そのまま逃げようと窓へ近づく。

▼セリフ：早美友理奈のクローン

(静止された)「ごめんなさい、ごめんなさい。一目だけでいいから、もう一回、友理奈に会いたかったの」(『④タタラ』に気づいた)「あっ、あなたが友理奈のお医者様ね？ そうでしょ、友理奈の話そのままだよの！」

(早美友理奈のクローンであることを指摘された)「そうです。わたしはCBM6-YU-k2.50です。早美友理奈のクローンとして育成、調整された個体です」

◆処理1

早美友理奈のクローンは『④タタラ』の《タイムリー》に対して《ブリーズ!》を使用する。効果内容は「ユキ自身の肉体を使って早美友理奈の手術を行い、成功させること」である(*12)。

『④タタラ』が不在の場合は、『①フェイト』に対して手術をせがむ形で《ブリーズ!》を使用する。

▼セリフ：早美友理奈のクローン

「先生、早く手術してください。私殺されちゃう(*13)」「殺される前に、早く、手術してください。友理奈を助けてください」

(殺されることに対して、理由を尋ねた)「それは……」《不可触》の効果として口を閉ざす(*14)

◆結末

友理奈のクローンが《ブリーズ!》を使用したところで、イベント4に移る。

●イベント4：来たるは儂^{きょうろし}屍

条件：「●イベント3：来たるは蛇かイヴか」を経た

シーンプレイヤー：任意

登場：(社会：ストリート、企業_{など}) / SR：グリーン

◆解説

早美友理奈のクローンを追って、玩^{ワンリユウ}緑が登場するシーン。戦闘となる。出現ゲストは玩^{ワンリユウ}緑のみで、トループは追加しない。

玩^{ワンリユウ}緑は撃破されると、藍^{ラン・ルンネ}閏月の〈※真の右腕〉によってダメージを回復して退場する。プレイヤーが4人以下の場合ないしは神業により戦闘不能ダメージを受けた場合は《霧散》を使用して退場する。

玩^{ワンリユウ}緑が撃破されたタイミングで、友理奈のクローンを匿ったキャスト、ないしは『①フェイト』の耳元に藍閏月のささやき声がする。彼女の手回しにより、友理奈のクローンは本当に誘拐されてしまう。

◆描写

病室の窓ガラスがけたたましく割れた。

外から一人の男が飛び込み、華麗に着地を決めた。男の顔には奇妙な札が貼られ、ひらひらと風にたなびいている。病室に、どことなく死臭が漂う。

▼セリフ：玩^{ワンリユウ}緑 (ワンリユウ)

「いやあ、さっすが『①フェイト』さんだ！ ちゃん

(※11) 一人用には広い部屋

ユキの同室には姉妹機がいたが、椿山らによって横流しの処分を受けている。『③クグツ』の査察を察知した椿山が、慌てて部屋を片付けた。

(※12) ユキの(ブリーズ!)

この神業は即座に効果を発揮せず、手術の予約という体になる。エンディング等で《タイムリー》を使用する場合、この時《ブリーズ!》された《タイムリー》で執刀できることになる。

(※13) 私殺されちゃう

実際に殺されそうになった等の事実はなく、ユキの思い込みである。

(※14) (不可触) について

神業の使用元は椿山晴彦であるが、演出上はユキに対して「クローンは複製元の役に立つ存在であり、自我をもつことがあってはならない」というライフツリー・システムの教育による圧力がかかっているというものになる。

とお嬢ちゃん見つけてくれたみたいだね！」
「じゃあ改めてお嬢ちゃんを誘拐するよ！」
(話が違くと抗議する)「あれ？ だって誘拐しないと俺誘拐犯にならないもん。だから誘拐するよ！」
(『③バサラ』が来た)「ぐえ、おまわりさんだ。追いかけてこなくてもいいじゃないですか！」
(倒された)「ぐおお、つよい。死んだかと思った。死んでるけど」

▼セリフ：藍閨月(ラン・ルンニエ)

(玩緑が倒された場合)「あらあら、私のかわいいキョンシーをいじめてもらっては困りますわ」
「そうやってよ見をされていますと、ちょっとかいをかけたくなります。うふふ」

◆結末

玩緑を倒せばカット進行は終了するが、友理奈のクローンはいなくなっている(*15)。
友理奈のクローンのもっていた、イノセントノート^{インノセントノート}を回収できる。以降、【友理奈のクローンのゆくえ】をリサーチ可能になる。

●イベント5：今までありがとう

条件：友理奈のクローンの落とした、イノセントノートを読む

シーンプレイヤー：任意

登場：任意

◆解説

友理奈のクローンが落としたイノセントノートの内容を描写する。

◆描写

まだ真新しいはずの電子ペーパーノートだが、乱闘のせいで薄汚れている。キミがノートを操作すると、最後のページが開かれた。

“友理奈へ

今までありがとう。交換日記楽しかったよ。
わたしは友理奈になって生きるから、これからも一緒だよ。

もらった名前だけは、大事にもっていくよ。

じゃあね。

——ユキ”

◆結末

クローンに与えられた「名前」をキャストが認識したら、イベントを終了する。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報項目は以下のとおり。

『①フェイト』：クローン盗難事件、早美友理奈

『②クグツ』：チハヤ・バイオメディカル、クローン盗難事件

『③バサラ』：逃げた死体

『④タタラ』：早美友理奈

『⑤トーキー』：クローン盗難事件、見かけた少女

◆クローン盗難事件

〈社会：ストリート、企業、警察〉〈コネ：早美宗司〉

- 8 千早系列のエグゼク、早美宗司の元に「娘のクローンを預かった。返してほしければ千早チナム用意しろ。【チハヤ・バイオメディカル】の警備はまるでザルのようだった」などといった脅迫メールが送られてきた事件。
- 10 実際に【チハヤバイオメディカル】から【友理奈のクローン】がいなくなっており、千早グループも『②クグツ』を出向させて対応にあたらせている。
- 12 脅迫メールの差出経歴から、夏系暴力団組織三合会の食客【藍閨月】の名前が浮上する。

◆早美友理奈

〈社会：企業、メディア〉〈コネ：早美宗司、早美友理奈〉

- 8 千早系列組織のエグゼク、早美宗司の一人娘。中学生。ペルソナはマネキン。
- 10 多臓器不全を患っているがサイバウェア不適合者であり、近々クローン(【友理奈のクローン】)への移植手術を行う予定。2か月前にチハヤ・バイオメディカルへの検査外出を行ったのを最後に、『④タタラ』の元入院している(*16)。(★アドレスを入手する)
- 12 最近誰かとイノセントノートで連絡をとっていた(*17)。

◆チハヤ・バイオメディカル

〈社会：企業、メディア、千早グループ〉〈コネ：小上紫乃〉

- 8 チハヤ・バイオメディカルは千早グループの中で特に生体臓器の生産を行う関連企業である。特にサイバウェア不適合のハイランダー向けに、クローンの生産・管理に力を入れている。
- 10 クローンの生産・管理をオートメーション化しており、当該システムは【ライフツリー・システム】と呼ばれていた。
- 12 所有していた【早美友理奈】のクローンが何者かの盗難にあい、契約者の早美宗司の元に身代金を要求する【クローン盗難事件】が発生している。(★チハヤ・バイオメディカルのアドレスを入手する)

(*15) いなくなっている

星幽界の行き来を得意とする藍閨月が、キャストたちの隙をついてさらってしまふ。

(*16) 早美友理奈の入院先

『④タタラ』がいけない場合、神聖帝都大学の附属病院とする。

(*17) 誰かと連絡をとっていた

相手は友理奈のクローン、ユキである。2か月前の検査の際、病弱で友人も少ない友理奈は自身のクローンに対して興味をもち、イノセントノートを渡した。イノセントノート本体については「TOS」p136を参照。

◆逃げた死体

- 〈社会：ストリート、警察、アストラル〉〈コネ：ジャンヌ〉
- 8 ブラックハウンド機動捜査課課長、レイが確保した不審者。レイは誘拐だと判断して攻撃したが、付近で発見されたのはドローンのみである。彼女の攻撃で気を失ったかに見えたが、死亡していた。監察医によると死後10年は経過しているとのこと。遺体安置所に保管されていたが、再び活動をはじめ、基地の外へ逃走した。
 - 10 基地内に侵入した何者かが、使役のための札を張りなおしたためである。
 - 12 夏系のマヤカシが使役する**僱屍**と思われる。
 - 14 逃走したクグツは三合会の食客【**玩緑**】である。確保された現場は【チハヤ・バイオメディカル】の付近である。

◆**玩緑**

- 〈社会：ストリート、警察、アストラル〉〈コネ：ジャンヌ〉
- 10 夏系装束をまとった格闘家の青年。ベルソナはチャクラ。三合会の食客としてN◎VAに現れ、荒事に駆り出されている。
 - 12 【**藍閨月**】の呪術によって動く**僱屍**であり、腹心である。レイの攻撃によって額の札が外れ、ただの死体に戻っていたが、ブラックハウンド基地に侵入した**藍閨月**が再び札を貼ったことで基地から逃走した（*18）。
 - 14 【チハヤ・バイオメディカル】に侵入し、クローン一体を盗んだ疑いがある。
 - 16 しかしこの人物が実際に盗んだ形跡はない。偽装工作のようだ（【誘拐偽装】）。

◆ライフツリー・システム

- 〈社会：企業、テクノロジー〉〈コネ：小上紫乃〉
- 10 チハヤ・バイオメディカルにおいてクローンの効率育成のために開発された装置。管理責任者は【**椿山晴彦**】。斑鳩の外れに無骨な白い箱のような建築物として存在している。
 - 12 クローンを胎児の状態から、医療用として使用可能な状態まで育成し、DAKとドローンを駆使してクローンの知識面、精神面もケアする。
 - 14 チハヤ・バイオメディカルのセキュリティシステムともリンクしており、来客以外がゲートを通ろうとすると完全にロックする仕組み。来客として最近ゲートを通過した記録があるのは【**早美友理奈**】である。
 - 18 生産計画に沿わず廃棄されているクローンが存在するはずだが、その実数が非常に少ない。これはシステムの優秀さを記すデータに使われている（【偽装工作の疑い】）。

◆**椿山晴彦**

- 〈社会：企業、千早グループ〉
- 10 チハヤ・バイオメディカルの職員。ベルソナはタタラ。ライフツリーシステムを利用して医療用クローンを生産する責任者。
 - 12 クローンはあくまで業務上の資産、商品であるとしてとらえており、効率的な生産、管理を常に模索している。
 - 14 以前はクローンの廃棄処理に苦心していたようだが、最近はその様子が全くない。

◆**藍閨月**（*19）

- 〈社会：ストリート、社交界〉
- 10 夏系装束をまとった、女性のマヤカシ。現在は三合会の食客。招財の呪術に優れ、金儲けをたくらむエグゼクティブたちに**コネクション**をもつ。
 - 12 【**玩緑**】という男を常に侍らせている。
 - 14 彼を【チハヤ・バイオメディカル】に侵入させ、【**早美友理奈のクローン**】を盗ませた。
 - 16 だがそれは偽装であり、【**友理奈のクローン**】は元から**藍閨月**の手元になかった。一連の脅迫事件は【**①フェイト**】にクローンを探させるための偽装工作である。（【誘拐偽装】）
 - 18 出所不明の成人のクローンを三合会経由で捌いており、品質がよいととても評判である。

〈社会：アストラル〉

- 10 夏系装束をまとった、女性のマヤカシ。現在は三合会の食客。**星幽界**へ身を隠す術を得意とし、物理的な壁は彼女の前に意味を成さない。
- 12 元は中華陰陽最高議会の有力幹部の座にあったが、邪術・禁術を用いることを理由にその座を追われている。実際のところは派閥の悶着に退屈し自ら席を蹴ったようだ。
- 14 他人を洗脳し、使役する方法を好む。【**玩緑**】という**僱屍**を腹心になっている。
- 16 禁術とされる【**招財童子**（*20）】の術を使い、財界界に取り入っていた。

（*18）基地から逃走した

プレイヤーの人数が3人以下の場合、**玩緑**はこの逃走に際して（**黄泉遣り**）を使用したことにすること。

（*19）情報項目【**藍閨月**】

〈社会：ストリート、社交界〉で調査できるものと、〈社会：アストラル〉で調査できる項目にわかれており、それぞれ別の情報項目として扱う。二つを同時に調査することはできない。

（*20）情報項目【**招財童子**】

【**⑤トーカー**】が不在の場合、R1はこの項目については補足的に読み上げ、情報項目として追加しない措置をとること。新たな情報項目が追加されてしまい、リサーチフェイズが必要以上に伸びてしまう。

◆偽装工作の疑い

〈社会：企業、テクノロジー〉〈電腦〉

- 16 廃棄されるはずのクローンをブラックマーケットに横流しすれば多額の利益を得られるだろう。しかし社内の電子データがごとごとく改竄されていた場合、暴くのは非常に困難である。証言などのウェットデータがあれば矛盾を突くのに有効だろう。
- 18 この社内には自我が弱くなるよう調教されたクローンしかないが外部と接触し知見を得たクローンであれば証言することは可能だ。
- 21 【友理奈のクローン】は廃棄クローンの行方について知っていた可能性がある。

◆誘拐偽装

〈社会：企業、警察〉〈心理〉

- 14 今回の誘拐事件は【チハヤ・バイオメディカル】から何らかの事情で失踪した【友理奈のクローン】を探させるための工作である。藍閨月は早美宗司にあえて情報を流して彼を動かすことで、より手早く彼女の居場所を調べる魂胆があった。
- 16 【友理奈のクローン】の自我を処分し、商品として出荷させることによって彼女の逃走をなかったことにしようとしている。

◆友理奈のクローン

〈社会：企業、テクノロジー〉〈コネ：早美友理奈〉

- 8 チハヤ・バイオメディカルで育成されていた早美友理奈のクローン。製品コードはCB5-YU-k2.do50。ペルソナはカゲムシャ。
- 10 ライフツリーシステムによって従順なクローンとして成長しており、本来自発的な行動を行うことはない。《不可触》が使用されている(*21))
- 14 しかし監視システムの目を欺いてチハヤ・バイオメディカルを脱走した(クローン自身の《神出鬼没》が使用されている)。現在のアドレスは不明。

◆見かけた少女

〈社会：メディア〉〈コネ：早美宗司〉

- 8 『⑤トーキー』がハマミ・インバーストメントの前で見かけた少女。年のころは中学生ぐらい。立ち去る際、【うさぎのぬいぐるみ】を落としていったが、特に名前が書いてあるわけではない。
- 10 少女は早美宗司の一人娘、早美友理奈に瓜二つである。彼女は現在『④タタラ』の病院に入院している。

◆ウサギのぬいぐるみ

〈社会：メディア、アストラル〉

- 8 『⑤トーキー』の見かけた少女が落とした、かわいいうさぎのぬいぐるみ。鞆などにつけられるチャーム型。
- 10 現在N◎VAの女性エグゼクたちの中で流行している『ツキウサギ』と呼ばれるぬいぐるみ。つけると“ツキ”を運んでくれるという。男性向けの無骨なタイプもあるらしい。販売元は不明。
- 12 早美宗司も購入したとの話があり、どうやら娘の早美友理奈にねだられたようだ。
- 16 しかしツキウサギは、もっていた人間が交通事故にあった、階段から落ちた等の話があり、何かの霊が“憑いている”といったマヤカシめいた噂もある。
- 18 ツキウサギには夏系の呪術【招财童子】の術がかけられており、生まれる前に死んだ胎児の霊が憑いている。

◆招财童子

〈社会：アストラル〉

- 12 夏系の呪術の中でも、特に禁術とされる招财の術。生まれる前に死んだ胎児の死体を使い、ツキを呼び込む悪霊を生み出す。
- 14 使い手は限られており、N◎VAで使用できる術者として名が挙がるのは【藍閨月】である。
- 18 藍閨月は廃棄された胎児のクローンを使って悪霊をウサギのぬいぐるみの憑かせ、ツキウサギとしてエグゼクたちに商っていた。

◆ユキの行方

〈社会：ストリート、警察〉〈コネ：早美友理奈〉

- 16 玩緑はユキをさらい、チハヤ・バイオメディカルに向かったようだ(★チハヤ・バイオメディカル上層階のアドレスを得る)。

(*21) 〈不可触〉

〈不可触〉を使用しているのは椿山晴彦である。注釈の14も参照すること。



クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●クライマックス：この樹が吊るすものは

◆解説

藍閨月と椿山晴彦はチハヤ・バイオメディカル最上階でキャストたちを迎え撃つ。

友理奈のクローンが施設内の情報を証言させなければチハヤ・バイオメディカルと三合会の蜜月は続けられる。彼女と、キャストたちの口さえ封じれば、だが。

椿山晴彦ももう背に腹はかえられない状況であり、自分を評価しない千早重工への逆恨みし、キャストたちに攻撃する。

【SPS：友理奈のクローンを保護する】を提示する。

◆処理

藍閨月はユキに対して「傀儡香（HDBp18）」を使用し、[支配]を与える。

この効果によってユキは、戦闘に参加する敵ゲストとなり、さらにシーン終了時に[完全死亡]する(*22)。

『④タタラ』の《タイムリー》などの適切な神業によって[支配]を解除することができる。ゲストはこれを神業によって妨害しない(*23)。

RLはカット進行の前にこの情報をプレイヤーたちに提示すること。

「[支配]が解除された場合、ユキは解除してくれたキャストに対して《ファイト!》を使用する。

◆描写

チハヤ・バイオメディカル内部は今までと全く変わらない静けさだった。何も変わったことはない。ただ、『③バサラ』だけは上層階に、禍々しい気配を感じるのだらう。

高速エレベータに乗り最上階であなたがたを迎えたのは、部屋を埋め尽くす、無数の保護ケース。その中に格納された胎児のクローンたち。

そして、マヤカシの藍閨月、その腹心の玩緑、そして椿山だった。

藍閨月が膝の上に友理奈のクローンを寝かしつけ、扇であおいでいる。鼻腔をくすぐる甘ったるい匂いがあなたたちの所にも届く。

傀儡香だ。

▼セリフ：藍閨月

「あらあら、お越しになってくださったの。わざわざありがとうございます。おかげさまで事件は解決いたしましたわ」

(*22) プレイヤー3人の場合

ユキに支配を与える処理は演出のみとなり、ユキはカット進行には参加しない。呼び声に応える等の演出を以て、『④タタラ』のタイムリーに対して《ファイト!》を使用する。

(*23) 妨害しない

傀儡香の使用は単に藍閨月の余興であり、綺麗な死体となったところで藍閨月たちには問題がない。

「この子が今までのことをすっかり忘れて、クローンとしての務めを果たしてくれれば、それで解決なのですわ」

「屍としての責務を果たせるのですから、とてもよいことではなくて？」

(死体を玩んだことについて問いただされた)

「私は意味なく棄てられる死体を有用に活用しただけですわ。命あるものをもてあそんでいるのは、そちらの方じゃありませんこと？」

(倒された)「ああ、ここで終わるのですね……ふっふっ」

▼セリフ：玩緑 (ワンリュウ)

(『③バサラ』に対して)「ワンちゃん、しつこいっすよ！」

でもここまでっすからね！」

(倒された)「大丈夫っすよ、閏月がすぐ直してくれるっすから……」

▼セリフ：椿山晴彦

「このクローンが脱走などしなければこんなことにはならなかったんだ。おかげでとんだ芝居をするはめになった」

(『②クグツ』に対して)「重工も重工だ、ロスが多ければ廃棄を減らせといい、ロスが少なければ、かえって潰しにかかってくるとは。だが、お前を本社へ返さなければ今までどおりだ！」

(倒された)「ちくしょう、ちくしょう！」

◆カット進行

キャストはすべて同エンゲージとする。

敵ゲストは以下の通り。

・藍閏月	CS:7	AR:1
・玩緑	CS:12	AR:1
・椿山晴彦	CS:6	AR:1
・ユキ	CS:9	AR:1

敵ゲストはすべて同エンゲージとし、キャストの近距離エンゲージに配置する。

ユキを除くゲストをすべて倒せば、カット進行終了となる。

◆結末

カット進行が終了したならば、シーンを終了する。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

エンディングは、証言者としてのユキをどう保護するかによって大きく変わる。プレイの経過と、プレイヤーの要望に合わせて演出すること。下記に指針としての一案を示す。

●エンディング1：金にしかできないこともある

シーンプレイヤー：『①フェイト』

◆解説

『①フェイト』のエンディング。駆け付けた早美宗司と、ユキの扱いについて打ち合わせを行う。

ユキに《真実》を使用すると、ユキはクローンとしての立場を理解しながらも、友理奈と過ごしたいという本音(=自我)をもらう。

早美宗司は事情の説明を受けると、ユキの社会的立場の確立などに援助を申し出る。

◆描写

不気味ともいえる命の工場を降り、キミたちは地上に足をつけた。けたたましいサイレンと共に、通報を受けたSSSの車両がビルの前に到着する。

だが、それよりも早く、一台の高級車が割り込んできた。早美宗司が車を飛び降りてくる。

▼セリフ：早美宗司

「おお、無事に取り戻してくれたが、『①フェイト』！」

感謝する。これで娘は助かった」

「『④タタラ』先生、すぐに手術を！」

(ユキの証言が必要であると告げる)「証言？ 医療用のクローンに証言ができるというのかね？」

「だがこのクローンは友理奈のために育成した、私たちの所有物だ。残念ながら法的には、私がどう使おうと問題ないのだよ」

(ユキに対して)「キミは私に逆らうつもりなのかね？」

▼セリフ：ユキ

「いいえ。私は友理奈さんのスベアボディです。私の体を使ってください」

(《真実》を使用した)「でも、もう少しだけ……友理奈さんとお話していたかったな」

▼セリフ：早美宗司

「友理奈の友人というのはキミのことか。まったく因果なことだ」

「『④タタラ』先生、彼女の分の面倒もみてやってくれないか。謝礼は増やす」

「『①フェイト』、社会的な身分なら私に任せなさい。金で済む話なら、私の領分だ」

◆結末

キャストたちがやりとりを終えたなら、シーンを終了する。

●エンディング2：ありがとう、先生

シーンプレイヤー：『④タタラ』

◆解説

『④タタラ』のエンディング。友理奈、およびユキの術後のシーン。ユキの《ブリーズ！》によって友理奈を手術した他に、《タイムリー！》によってユキに全身義体を用意してやることもできる。だが証言者という立場上、身分や居場所は明かされていないだろう。

◆描写

病室で早美友理奈は目を開けた。傍らにはキミの姿があった。

▼セリフ：早美友理奈

「……せんせ？」

「わたし、この体は……ユキに、なったの？」

「この体がユキだとしたら、私はいま、ユキなのかな？ 友理奈なのかな？」

●エンディング3：静かな鎮火

シーンプレイヤー：『②クグツ』

◆解説

『②クグツ』のエンディング。まだ《完全偽装》を使用していないのであれば、椿山晴彦とライフツリースシステムの処分方針を踏まえ、使用を促すこと。

◆描写

小上紫乃に事件の経過を報告する。

▼セリフ：小上紫乃

「迅速な火消し、ありがとうございました。やはり静かすぎる火事というのは、厄介なものです」

「クローンの扱いも厄介ではありますが、マーケットが存在する以上扱わないわけにはいきません。今後はより慎重に扱う必要がありますね」

「ああ、『②クグツ』さんのタスクですが、こちらも懸案事項が発生しました。こちらの業務に戻っていただけますか？」

●エンディング4：猟犬は犬舎に眠る

シーンプレイヤー：『③バサラ』

◆解説

『③バサラ』のエンディング。ジャンヌに事件を報告するシーン。

◆描写

ジャンヌに事の顛末を報告した。

▼セリフ：ジャンヌ

「事はなんとか片付けたようだね。よくやってくれた」
「課長どのには災難だったが、おかげで『③バサラ』が動けたのだから、感謝しかないな」
「ひとまず休んでくれ。生きている人間には休息が必要だからな」

●エンディング5

シーンプレイヤー：『⑤トーキー』

◆解説

『⑤トーキー』のエンディング。《暴露》によってこの事件を自由に報道することができる。事件そのものを報道するの、事件から得たことを社会に問うのも自由である。

◆描写

キミは今日もアポをとり、取材に赴く途中だった。ロボタクの中でニュースサイトをチェックすると、経済面にやや大きな記事が飛び込んできた。あの早美宗司が、自我をもった、つまり規格外となったクローンを支援する財団を設立したというのだ。

▼セリフ：早美宗司

「クローンに人権を認めるか否かは、今我々が議論する時ではない。議論している間も惜しいほどの問題だからだ」

「規格外となってしまったクローンが、『人間』として困惑する。そうした現実、私はつい先日遭遇した。これがどんなに残酷なことか」

「我々はクローンを必要とし、実際に活用している。これはもう変えられない現実だ。私はこれを覆すことはできないが、彼らを支援することはできる」



RLガイド

●シナリオのコンセプト

『ライフツリース・コープス』はクローンの『外身（＝肉体）』を必要とする N◎VA 社会と、『中身（＝自我）』を得てしまったクローンの関わりを描いたシナリオである。サブリ『ヘブン・ダウンビロウ』に記載された、N◎VA の医療事情（『HDB』p59）に着想を得ている。

シナリオをクリアすること自体は難しくないだろう。しかしシナリオ中の最大の障害であるユキの処分、つまり『クローンの人権』についてどう決着をつけるかが、エンディングの方向を大きく変える。特にフェイトとタタラの折り合いの付け方が鍵となるだろう。自身の決断が誰にとって幸せな社会になるのか、思いを馳せてプレイしてほしい。

●プレイ人数による調整の指針

プレイ人数が4人以下の場合、下記の調整を行う。

▼プレイヤー人数が4人の場合

・イベント4の戦闘で玩緑が撃破された際、《霧散》を使用して復活する。〈※真の右腕〉は使用しない。

▼プレイヤー人数が3人の場合

・プレイ人数が4人の場合の調整に加えて、オープニングで玩緑の《黄泉還り》1個は使用済とする。また、神業書換技能〈決闘者〉を使用しないとする調整を行う。
・クライマックスフェイズにおいて監閉月は「傀儡番」を使用せず、ユキはカット進行に参加しない。



ラン・ルンニエ
藍閨月

マヤカシ◎、クロマク●、ミストレス

▼設定

「あなたと遊ぶのには飽きましたわ。次の遊びをもつてらっしゃいまし」

三合会の食客として悠然とふるまうマヤカシ。かつて中華最高陰陽議会の有力幹部の座にあったが、繰り返される派閥争いと自慢話に退屈して自ら席を蹴った。刺激を求めて在野に下り、N◎VAの悪徳を思うまま謳歌している。だが使役する玩緑だけは十年來ずっと手元に置いている。何よりも楽しいことを優先する。

▼神業

守護神 腹心 ファイト!

▼能力値 / 制御値

♠理性: 5 / 12 ♣感情: 8 / 15
♥生命: 2 / 7 ♦外界: 6 / 14

▼戦闘データ

[CS] 7 [AR] 1
[防御力] S:3 / P:4 / I:4

▼一般技能

- 2♠♣♥◇ 知覚
- 2♠♣♥♦ ★心理
- 3♠♣♥♦ ★自我
- 2♠♣♥◇ 交渉
- 2♠♣♥♦ ★圧力

▼スタイル技能

- 2♠♣♥◇ 星歩 (CTL79)
- 2♠♣♥♦ ↑分心 (TOS102)
- 1♠♣♥♦ ※刹那の刻 (BTD69)
- 2♠♣♥◇ ↑盾の乙女 (TNX189)
- 2♠♣♥◇ ↑消沈 (TNX219)
- 2♠♣♥◇ 心紋 (BTD84)
- 1♠♣♥◇ 夏系協調 (HDB37)
- 1♠♣♥◇ ※真の右腕 (BTD75)

▼アウトフィット

- ・天玄衣電: 15 / 隠: 14 (CTL97)
バトル・チャイナドレス。色は黒。
- ・傀儡香電: - / 隠: 15 (HDB18)
[気絶][仮死]しているキャラクターのダメージを回復して[支配]を与え、そのシーンの終了時に[完全死亡]させる。
- ・麝香電: 17 / 隠: 18 (TOS121)
自分の周囲にリラックス効果のある香りをおよぼせるオーガニッククウェア。至近距離への(交渉)判定の達成値に常に+1する。

▼戦闘プラン

セットアップで〈分心〉〈交渉〉。「エニグマ:招財童子」を呼び出す。〈心紋〉の効果で達成値+2。
最速のキャストなしシグスのイニシアチブで〈刹那の刻〉で割り込み、分心を行動させる。〈刹那の刻〉によって [AR] を消費し、分心は自身の [AR] によって行動する。
分心がない状態では〈十盾の乙女〉を使い玩緑にメインプロセスを行わせる。
分心を呼び出すよりも早くリアクション技能を使用する必要が出た場合は、〈消沈〉によって対応する。〈心紋〉の効果によって達成値は+2。
〈腹心〉は玩緑。〈ファイト!〉は防衛神業を失った椿山晴彦に使用し、〈不可触〉をふやす。〈復讐者〉によって、椿山晴彦に与えられたダメージを攻撃側に返させる。

招財童子

クロガネ2レベルエニグマ

▼能力値 / 制御値

♠理性 5 / 7 ♣感情 4 / 6
♥生命 4 / 6 ♦外界 2 / 5

▼戦闘データ

[CS] 2 [AR] 1
[防御力] S:0 / P:0 / I:0

▼一般技能

- 3♠♣♥◇ ★白兵

▼アウトフィット

なし

▼スタイル技能

- 1♠♣♥◇ フォルム⑦:アニマル (TOS66)
- 1♠♣♥◇ ウィグワグ (TOS67)
- 1♠♣♥◇ 霊刃 (TOS103)
- 1♠♣♥♦ ※スーサイドアタック (CTL85)

▼戦闘プラン

藍閨月のセットアップで呼び出された場合、その達成値分のエニグマポイントを得る。
メインプロセスでキャストのエンゲージに移動し、〈白兵〉(霊刃)の組み合わせで攻撃。ダメージ算出時でスーサイドアタックを使用する。成功した場合、ダメージはS+Aスタート、自身は[完全死亡]する。
〈ウィグワグ〉は自身の攻撃を回避しようとするキャストに対して使用し、キャストの達成値を-2する。



ファンジウ
玩緑

チャクラ=チャクラ◎●、アヤカシ

▼設定

「知らないっすか? 死体ほどよくしゃべるっすよ!」

三合会の食客として荒事に駆り出される青年チャクラ。軽口を叩くお調子者だが強烈な蹴りと体術は真正のもの。その正体は藍閨月の使役する傭兵である。自発的に思考しているように見えるが、あくまで藍閨月に生前の性格をインプットされているにすぎない屍である。

▼神業

黄泉還り 黄泉還り 霧散

▼能力値 / 制御値

♠理性: 4 / 15 ♣感情: 5 / 15
♥生命: 9 / 12 ♦外界: 3 / 6

▼戦闘データ

[CS] 12 [AR] 1
[防御力] S:0 / P:0 / I:0

▼一般技能

- 2RpLm 知覚
- 2RpLm 運動
- 2RpLm ★回避
- 3RpLm ★白兵

▼スタイル技能

- 2RpLm 露の体 (TOS77)
- 2RpLm 縮地 (TNX210)
- 4RPLM 練気 (TNX210)
- 2RpLm ↑功夫 (TNX211)
- 2rPIM 腹心の盾 (TOS93)
- 2rPIM 血脈⑩:死者の一族 (TOS82)
- 1rplm 決闘者 (CTL74)

▼アウトフィット

- ・聞達自在電: - / 隠: 12 (HDB36)
軽やかな身のごなしを授ける靴。装備者の [CS] に+3、〈運動〉判定の達成値に+2する。
- ・花籠電: 17 / 隠: - (TOS133)
豪華な籠の刺繍をほどこした長袍 (チャンバオ)。
- ・ウェット電: - / 隠: 制 (TNX258)
サイバーウェアを一切装備していない。

▼戦闘プラン

セットアッププロセスで〈縮地〉を使用してCSを+9。1シーンに1回可能。
メインプロセスのムーブタイミングでキャストに至近距離に接近し、マイナータイミングで〈練気〉を使用して攻撃力に+4する。メジャーアクション(白兵)〈運動〉(功夫)の組み合わせで攻撃し、アウトフィットの効果で達成値に+2、ダメージはH+13スタート。
藍閨月に攻撃が及んだ場合、〈腹心の盾〉でダメージを引き受ける。肉體ダメージを受けた場合、〈血脈⑩-死者の一族〉を使用して9点の肉體ダメージ軽減を行う。
神業の運用方針はプレイヤー人数によって変更される。プレイヤー人数が4人以上の場合、神業書換技能〈決闘者〉で書き換えた〈黄泉還り〉で特定スタイルをもったキャストに即死攻撃を行う。



椿山晴彦

タタラ◎、レッガー●、ニューロ

▼設定

「なぜだ！ 業務上のロスをも有用に活用しただけではないか。何が問題だというのだ！」

チハヤ・バイオメディカルに勤務するタタラ。ライフツリー・システムの管理責任者。クローンはあくまで資産、運用対象だと思っている。クローンの生産口上のせいで評価が上がらないと思っており、藍間月の口車に乗って廃棄クローンの横流しにに応じてしまった。プライドが高く、上から見下してくる人間を嫌う。

▼神業

タイムリー 不可触 電脳神

▼能力値 / 制御値

♠理性： 8 / 14 ♣感情： 5 / 12
♥生命： 3 / 8 ♦外界： 5 / 14

▼戦闘データ

[CS] 6 [AR] 1
[防御力] S:1 / P:1 / I:2

▼一般技能

3♠♣♥♦ 電脳
3♠♣♥♦ ★心理

▼スタイル技能

2♠♣♥♦ †弱点看破 (TNX)
2♠♣♥♦ 虫使い (TNX)
2♠♣♥♦ NGワード (TNX)
1♠♣♥♦ †ハイエナ (BTD81)
1♠♣♥♦ 碎魂者 (CTL82)
1♠♣♥♦ 復讐者 (CTL76)

▼戦闘プラン

セットアッププロセスで同エンゲージのゲストに〈弱点看破〉を使用する。成功した場合、対象の肉體ダメージ及び精神ダメージに+4される。
メインプロセスでは近距離までのキャストに対し〈心理〉〈電脳〉〈虫使い〉の組み合わせで攻撃。3点+差分値スタートの精神ダメージを与える。
自身の手番までによい捨て札が発生した場合、〈ハイエナ〉で拾う。
〈タイムリー！〉は防御神業として使用する。〈電脳神〉は神業書換技能〈碎魂者〉を使用して〈神の御言葉〉として使用する。全ての神業が尽き、更に攻撃された時、藍間月から〈ファイト！〉をうけて〈不可触〉を増やされる。増やされた〈不可触〉を神業書換技能〈復讐者〉の効果によって、ダメージをし返す効果に変更する。

▼アウトフィット

・フェイトコート電：15 / 隠：00 (TNX238)
 (相当品) 特殊繊維を使用した白衣。
・DPノート電：14 / 隠：6 (CTL103)
 A4サイズのダブルハネルタップ。CSIに-2
・クロッククラック電：15 / 隠：15 (TNX245)
 ソフトウェア。電脳判定の達成値に常に+1
・マスタライズ電：13 / 隠：13 (CTL105)
 取得時に選択した一般技能(〈電脳〉)の判定の達成値に+1。
・アウトメモリー電：12 / 隠：7 (CTL106)
 ハードウェア。タップにつけられるソフトウェアの上限に+2
・マジックポルト電：18 / 隠：12 (TNX245)
 ソフトウェア。与える精神ダメージに常に+1する
・ATスレイヤー電：14 / 隠：13 (TNX245)
 ソフトウェア。与える精神ダメージに常に+2する
・カームマインド電：12 / 隠：- (TNX254)
 サイコアプリ。自身に与えられる精神ダメージを常に2点軽減



ユキ

カゲムシャ◎、ミストレス●、マネキン

▼設定

「友理奈、ありがとう。今まで楽しかったよ」

早美友理奈の医療用クローン。製品コードはCB5-YU-k2.do50。自我の成長は未成熟であったが、友理奈当人と交流をもつことによって急速に自我を育成させた。クローンとして使命を果たすことは受け入れられているが、もう少し友理奈と生きていたい本心がある。

▼神業

神出鬼没 ファイト! プリーズ!

▼能力値 / 制御値

♠理性： 4 / 11 ♣感情： 9 / 15
♥生命： 5 / 11 ♦外界： 3 / 11

▼戦闘データ

[CS] 9 [AR] 1
[防御力] S:0 / P:0 / I:0

▼一般技能

2♠♣♥♦ 知覚
2♠♣♥♦ ★自我
2♠♣♥♦ 交渉
2♠♣♥♦ 隠密

▼スタイル技能

2♠♣♥♦ 疑似人格 (TOS74)
2♠♣♥♦ 愛の交歓 (TNX)
2♠♣♥♦ ★†完全看破 (BTD91)
1♠♣♥♦ 愛の泉 (CTL66)
1♠♣♥♦ キャットシーフ (CTL66)

▼アウトフィット

・コンフォータブル電：18 / 隠：11 (TOS133)
 温度調節機能のついた服。
・AR コンタクト電：12 / 隠：18 (TNX253)
 ウェブのAR情報を読み取れるコンタクトレンズ。ウェットでもAR情報を見られるようになる。

▼戦闘プラン

セットアッププロセスで交友のあったキャストを対象に〈愛の交歓〉を行い、手札を交換させる。自分の手番までの攻撃に対して、〈完全看破〉によって攻撃を失敗させる。
メジャーアクションではキャストのエンゲージに対して〈愛の泉〉〈キャットシーフ〉を組み合わせで行動し、成功すると対象は[BS:憎悪]を受け、ユキを対象に含まない攻撃の達成値に-5される。
〈ファイト!〉はカット進行中に自身の[BS:支配]を解除したキャストに対して使用し、解除に使用された万能系神業を一発増やす。[BS:支配]が解除されない場合、神業は使用しない。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したりプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.029 『ライフツリーズ・コープス』

発行日：2016.12.22

執筆（著作権者） サバ缶
イラスト サバ缶

企画 ニューロ／CD製作委員会
DTP まだら牛
素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL：http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/